

2016

第29回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞

the
29th
public
competition
fukuoka
prefecture /
architectural
award
for
artistic
urban
design

目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
最終選考対象作品	08
理事長賞	09
理事長賞 最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13

ご挨拶

福岡県知事

小川洋

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、県民の皆さまや事業者の方々の美しいまちづくりへのご理解により、優れた応募作品に恵まれ、今回で29回目を迎えます。ここに深く感謝申し上げます。

本県では、個性豊かで美しく、誇りを持って次の世代に継承することのできる県土の保全、整備および創造を図るため、平成12年に「福岡県美しいまちづくり条例」を制定し、県民の皆さまや事業者の方々とのパートナーシップによる美しいまちづくりを推進しています。

同条例の制定に伴い、国際居住年(昭和62年)に創設した「福岡県建築住宅文化賞」から移行した本賞は、県内の「個性豊かで美しく、良好な景観を形成する建築物」の表彰を通じて、本県が推進する美しいまちづくりに対する県民意識の醸成を図ることを目的として実施しています。

今回も多数の応募作品の中から、選考委員会の審査を経て、住宅の部・大賞「太宰府の家」、一般建築の部・大賞「SHIP' S GARDEN」のほか優れた建築作品を選定いたしました。受賞作品はいずれも周辺の景観と調和しており、県民の皆さまの建築物に対する関心を高め、美しいまちづくりの推進に大いに寄与するものと考えています。

今後も、県民一人一人の幸福実感を向上させるとともに、誇りを持って良好な居住環境を次の世代へ継承することができるよう、より一層美しいまちづくりに向けた取り組みを推進してまいります。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

審査委員長

菊地成朋

この賞は、優れた建築物を表彰することによって美しいまちづくりの促進を図ることを目的として制定され、本年度で29回目を迎える。一般公募で集まった作品の中から、選考委員会の審議を経て住宅と一般建築の部門ごとに大賞および優秀賞、また住宅のリフォーム・リノベーション作品を対象に(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞が授与される。選考にあたっては、まず第1次選考として応募書類をもとに候補作品を選出し、第2次選考でそれらの現地審査を行って受賞作品を決める。

本年度は、住宅の部52件、一般建築の部41件、計93件と昨年を上回る応募が寄せられた。それらから現地審査に進む作品を絞り込む第1次選考委員会を9月8日に開催し、住宅の部の候補4作品と一般建築の部の候補5作品、センター理事長賞候補2作品を選出した。

現地審査は10月23日と11月23日の2日にわたって行われ、建物の外観や内部空間を視察するとともに関係者の説明を受けた。この現地審査終了後、最終選考委員会を開催し、各受賞作品を選出した。

住宅の部で大賞を受賞した「太宰府の家」は、設計者が住み手の想いを汲み取って設計した住宅に居住者によって生み出された居場所が散りばめられていて、住まわれることで一層魅力的な作品となっている。優秀賞の「5層のワンルーム住居」は、条件の厳しい敷地に大胆な構成で挑んで見事な住空間をつくり出した設計の手腕が高い評価を得た。海岸線の急斜面の上部に開放的で上質な空間が演出された「Villa F」もまたデザイン力が存分に発揮された作品である。「朝倉OLVA」は賃貸でありながらコモンスペースをもつ接地型集合住宅で、事業としての折合いをつけつつ住環境形成に最大限の努力が払われている点が評価された。

一般建築の部では、大賞は「SHIP' S GARDEN」、優秀賞は「安川電機100周年プロジェクト」が受賞したが、第1次選考を通過した5作品がバラエティに富んでいて、この事業の幅の広がりを感じるとともに、それが選考委員を悩ませることにもなった。

「SHIP' S GARDEN」と「コンテナショップ」は、どちらも商業施設が都市のパブリック性を担うことを意図した作品であるが、そのアプローチは異なっている。「SHIP' S GARDEN」は自らの屋上部分を全面的に開放することによって、新しいかたちのオープンスペースを福岡の町に提供している。一方の「コンテナショップ」は小規模なプロジェクトでありながら敷地特性に考慮して配置されることによって、地域の魅力向上に効果を発揮している。

「安川電機100周年プロジェクト」と「TOTOミュージアム」は、福岡県内の大手企業が記念事業として建設した公開施設で、その際に意欲的な建築デザインを採用しており、企業としての意識の高さが窺われる。「みやこ伊良原学園」は、ダム建設に伴う小中学校の移転に際して新しい校舎を注目されるような建築作品とすることによって

地域活性化につなげようというものである。このように、企業や自治体が優れた建築作品を提供することで社会貢献しようする姿勢は評価されてよく、本表彰事業の意図にも合致する。

センター理事長賞は、今後のストック型社会を見据え、2014年から住宅のリフォーム・リノベーションを対象としているが、事例は新築以上に多岐にわたり、評価が難しい面がある。今年も最終審査に残ったのはマンションの住戸リノベーションと民家の再生活用という、比較の難しい事例だった。現地審査は11月1日に行われ、3名の委員の審議によって町家を現代風にアレンジして再生させた「バリ・モンズリー」を選出した。一方の「LOFT HOUSE」も、階高の大きさを有効に活用して立体的な空間構成に再編した意欲的な作品で、マンション住戸のリノベーションとして優れた作品であった。

住宅の部
太宰府の家
太宰府市

設計者 マツダグミ一級建築士事務所 松田満成
〒810-0074 福岡市中央区大手門1-5-6-402
TEL 092-210-0008
http://matsuda-gumi.net/

建築主 個人
施工者 株式会社今村工務店 代表取締役 今村淳
用途 一戸建ての住宅
構造規模 木造 2階建て

設計の趣旨

「太宰府の家」は、高台の住宅地に建っている。周辺には豊かな自然もあり、北側は遠くまで山々を見渡すことができる。

建主の要望は、小屋のようなあまり派手ではない家であった。

ただそれは決して小屋が欲しいわけではなく、家に求めるものはドラマチックな空間ではなく、何気ない日常を大切にしたいという意図があると感じた。

そこで、様々な小さな居場所を作り日常の中の生活が豊かになるような受け皿としての家となるよう設計を進めた。

その結果、小さな家というか小屋の集まりのような集落のような家となった。

住み手にとって何気ない日々の日常が、愛おしい日常へと変わる環境をつくった。



講評

寝室やリビングや水まわりなどの機能で分けられた木製の箱が不規則に並び、中庭を囲んでいる。このようなボックス型の建物の分散的配置は、現代的な建築設計スタイルの一つである。図面からはそういう作風の印象が強かったが、現地審査でこの住宅を訪れてみて、それとは別の魅力を持っていることに気づかされた。

設計過程を聞くと、居住者の方が住まいづくりに関心が高く、設計者が居住者の想いを汲み取り、それを形にするように進められていったことがわかった。たとえば、居住者が気に入った建具を調達し、それがリビングとエントランスの間の窓に使われている。建設後に居住者自身によって居場所が設えられ、住宅のあちこちに散りばめられている。階段の下の勉強机やキッチン上部のロフトはそうのようにして生み出された居場所である。それらを繋ぐ動線が空間を出入りしながらループ状に構成され、楽しげである。

建設直後ではなく、あえて数年の居住を経てから応募したことも、設計者と居住者の共同制作といえるこの住宅ならば納得できる。設計者の手を離れた建築作品が居住者によって大事に育まれ、今後もそのような住まいの物語が紡がれていくことが想像される。



一般建築の部
SHIP'S GARDEN
所在地:福岡市中央区

設計者 株式会社スピングラス・アーキテクト 代表取締役 松岡恭子
〒810-0041 福岡市中央区大名2-11-19 第一赤坂門ビル2F
TEL 092-732-3121 <http://www.spinglass.co.jp>
株式会社リズムデザイン 代表取締役 井手健一郎
〒815-0082 福岡市南区大楠3-7-26 あさだ荘10号室
TEL 092-521-1363 <http://www.rhythmdesign.org>

建築主 西日本鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員 倉富純男
施工者 株式会社松本組 代表取締役 松本優三
用途 飲食店
構造規模 鉄骨造 2階建て

設計の趣旨

福岡市の最も古い街区公園を生まれ変わらせるにあたり、市が掲げる「天神ビッグバン」第一号として、建物を「民設民営」、公園を「公設民営」で、すなわち都市公園の賑わい創出に民間を参画させる注目すべき仕組みがとられた。

私たちは、限られた敷地の公共的な面積が減ることがないように、建物の屋上を誰もが利用できる広場とし道路側の公園と連続させ、また、1・2Fにおいては川側や公園側にもテラス席を設けるなど余すところなく立地と敷地の特性を使う工夫に努めた。

ウォーターフロントの魅力の薄さが課題とされるなか、市の中心部を流れる那珂川に面するこの場所が、人と自然が寄り添う公共空間として都心を豊かにすることを願う。

講評

中洲の先端部、川に突き出した三角形の敷地に設置されたカフェレストランのプロジェクトである。ただ、その主役は建築ではなく、屋上広場を含めた屋外空間であるといつてよい。もともとこの場所は公園だったが、決して十分に活用されているとはいえなかった。

計画に際して建物の屋上を全面的に開放することによって敷地全体を公園のようにし、カフェレストランが醸し出す賑わいととも、魅力溢れるスポットに生まれ変わらせている。

実際に屋上広場の上っていくと、景色が地上とは違ってくる。そこから幾つかの街路や那珂川が見通せ、都市を普段とは異なる角度で体感でき、ここが特別な立地だったことにあらためて気づかされる。

屋上広場は床がステップ状に構成され、そこにベンチが置かれ、段差も利用して思い思いに座って憩えるスペースになっている。設計に際し、「居場所づくり」に力を注いだことが伝わってくる。晴れた日には設置されたテントが日よけの役割を果たしてくれる。対岸からみれば、このテントは帆船の帆のようにも見え、夜には巧みに演出された照明と相まって、ひときわランドマーク性を発揮する。

このユニークな公園が、市民に親しまれる公共空間に育っていくことを期待したい。



撮影:株式会社エスエス

優秀賞

住宅の部
5層のワンルーム住居
所在地:宗像市

設計の趣旨 この場所は、崖地という立地条件だけで未開発のまま取り残されていた。建築の計画はこの崖地に対して、建築が地形に沿って立地する手法を選択する事でこの場所が持つ様々な問題解決を図りたいと考えた。

従って建築の骨格や断面は、敷地のレベルによって導かれており、斜めの平屋の様相によって現存する風景を壊さずに自然な佇まいを見せている。

内部は、地形に沿って導き出された5段の床にそれぞれの生活の機能を持たせ、単体の空間に留らず機能全体を家族が共有できるような段状のワンルーム空間で構成されている。

5層のワンルーム住居は、一見不利とも言える立地条件を享受しながら、その場所でしか生み出されない空間を目指した住宅である。

設計者 松山建築設計室 松山将勝
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目25番14号ヒロビル8F
TEL 092-433-1128 <http://www/matsuyama-a.co.jp/>

建築主 個人

施工者 株式会社安成工務店 代表取締役 安成信次

用途 一戸建ての住宅

構造規模 木造 2階建て

講評 用意された五つのフロアを仕切る壁は一切なく、すべてが一つに繋がっている。1層の玄関に入ると、2層の寝室、3層のダイニング、4層のリビング、5層の子供室まで一気に見通すことになる。その視線の先に開けられた大きな窓からは空だけが見えている。動線は脇におさめられた階段で処理されている。フロア間の段差部分に手すりなどはなく、落下防止用のワイヤーがついているだけである。フロア同士を直接つなく階段は設けず、階段との間に設けられた収納部の開口から出入りする。各フロアは段差で隔てられているだけで視覚的にはつながっているが、この動線処理によって一体感の中に程よい距離感が作り出されている。建物の傾斜は敷地のそれに従っているため、実際の外観は図面から受ける印象よりも控えめである。住宅地の中にあつて崖地という条件の悪さから開発されずに残されていた敷地に対し、悪条件を解決するだけでなくそれを積極的に活用して普通の敷地では成立し得ないようなユニークな居住空間を実現している。それでいて、快適な暮らしも十分可能な住空間が提供できている。設計者の力量を感じさせる作品である。



撮影:石井紀久

優秀賞

一般建築の部
安川電機100周年プロジェクト
所在地:北九州市八幡西区

設計の趣旨 安川電機は2015年に創立100周年を迎えた。かつて生産工場が密集していた敷地内の建物を整理し、15,000㎡を超えるエリアを「YASKAWAの森」として整備した。潜在的植性に沿った植栽と100種類を超える多様な植物、生物濾過システムによる水景を計画し、駅前の工場地帯に潤いのある景観を創り出している。

森は一般市民にも開放され自由に散策ができる場となっており、黒崎駅をはさんで南側の市街地と工場エリア側に人の流れを生み出す機能も担っている。また、日本社を保存改修し、歴史的な景観の維持にも配慮している。



設計者 株式会社三菱地所設計 野嶋 敏
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1丸の内二丁目ビル
TEL 03-3287-4013 <https://www.mj-sekkei.com/>

建築主 株式会社安川電機 代表取締役社長 小笠原浩

施工者 清水建設株式会社 常務執行役員 九州支店長 梅津誠二

用途 展示場、事務所

構造規模 SRC造一部RC造他 3階建て 他

講評 安川電機が100周年の記念事業として整備した施設群である。最先端技術を紹介する「みらい館」は、ロボットなどに触れてその技術を体験的に学ぶことができるミュージアムで、造形的な建築構成が建物の役割とマッチしている。また、役割を終えた日本社の一部を残して改修し「歴史館」としている。この日本社はアントニン・レーモンド設計によるモダニズムの名建築であり、惜しまれつつ解体されたが、一部とはいえこのように保存され、未来に受け継がれたことは評価できる。新しく建てられた「本社ビル」は、極力自然採光を取り入れるとともに太陽光発電や蓄電設備を備えた最新鋭のエコ建築で、今の時代に即した建物である。これらの施設を含むゾーンに植栽を施して「YASKAWAの森」と名付け、一般に公開している。このように、企業が自らの敷地を開放し、市民の利用に供する姿勢は、企業の地域貢献の形態として奨励されてよく、それが周辺も含めたまちづくりにつながる可能性がある。近い将来、この空間と連携して黒崎駅前北口広場が整備されれば、公共空間創出の先駆的事例となることだろう。



撮影:イトープロフォート

最終選考対象作品

住宅の部
Villa F
所在地 糸島市
設計者 伊藤建築都市設計室 代表 伊藤隆宏
〒810-0024 福岡市中央区桜坂1-8-3-001B



撮影:岡本公二(Techni Staff)

住宅の部
朝倉OLVA
所在地 朝倉市
設計者 環アソシエイツ 高岸設計室 高岸博之
〒810-0014 福岡市中央区平尾3-22-3平丘ビル



一般建築の部
みやこ伊良原学園
みやこ町立伊良原小学校
みやこ町立伊良原中学校
所在地 みやこ町
設計者 安藤忠雄建築研究所 安藤忠雄
〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎2-5-23



撮影:小川重雄

一般建築の部
TOTOミュージアム
所在地 北九州市小倉北区
設計者 株式会社梓設計 常務執行役員 永廣正邦
〒140-0002 東京都品川区東品川2-1-11
設計者 株式会社三原建築設計事務所 三原季晋
〒840-0041 佐賀県佐賀市内1-10-30
設計者 株式会社梓設計 神保明日美



撮影:株式会社 新建築社

一般建築の部
コンテナショップ
所在地 北九州市門司区
設計者 株式会社タムタムデザイン
代表取締役 田村晟一朗
〒802-0002 北九州市小倉北区京町1丁目4-11-3F



撮影:camekiti

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、
福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

一般財団法人
福岡県建築住宅センター
理事長賞

選考テーマ:住宅のリフォーム・リノベーション
バリ・モンスリー
所在地:大川市

設計の趣旨

昭和8年築の商家(綿屋)を、パン職人が営む
店舗併用住宅へと改修。以後この街道沿いに
繰り返されるだろう町屋再生の新たなデザ
インフォーマットを目指した提案。

- 1) 歴史意匠と外来意匠の混成
 - ・朱色ベンガラ柿渋杉板、貝灰漆喰など地

域的歴史的意匠(技術)の再現と継承

・正面壁を真壁ではなく大壁とし、歴史建築の復元と異なる外来
物的意匠を組み込む

・漆喰大壁を基壇にベンガラ杉板貼りを組み合わせ、歴史意匠の
「写し」ではなく「再編」を意図

2) ストック建築をローコストに改修

- ・「大川市街なみ環境整備事業」補助金の活用
- ・改装工事に即した、最小限の耐震補強工事
- ・ワークショップによる伝統技術の低コスト化、地域化、共同体化

講評

この建物は、家具の町として知られる大川の
町並みの中にある。パン屋である施主が古い
町家を買取り、できる部分から改修して活
用しようということではじめられた。今のと
ころ工事はファサードおよび店舗空間が中心で、
居住部分はそれほど手が付けられていない。

意匠は必ずしも伝統的形式の忠実な踏襲ではない。創意が加えられ、
それがこの建物の個性となって表れている。この地区は街なみ環境
整備事業の対象だが、伝統的建造物群保存地区などにはなっていない。
そこで、伝統的要素を活用しながら新しい要素も取り入れてまちづくり
を進めていこうという方針に沿って、このようなデザインが採用された。

また、施工の際に店内の土壁を地域住民とのワークショップで行う
ことによって、地域を巻き込んだプロジェクトとするとともに、暖かみ
のある内装を生み出している。

このように、低予算のプロジェクトながら、これを個別事例に終わ
らせず、まちづくりのハード・ソフト両面の仕掛けとしていくことが目
論まれている。今後この建物が施主の住まいとしてどのように成長して
いくのか、さらに、ここでの試みが周辺に作用して町がどう変わって
いくのか、楽しみである。

設計者 設計+制作/建築工房 高木正三郎
〒815-0083 福岡市南区高宮2-3-4-302
TEL 092-524-4123 <http://www.kooboo.net/>

建築主 個人
施工者 國武建設
用途 店舗付住宅
構造規模 木造 2階



撮影:高木正三郎

LOFT HOUSE
所在地 北九州市門司区
設計者 株式会社タムタムデザイン
代表取締役 田村展一朗
〒802-0002
北九州市小倉北区京町1丁目4-11-3F



撮影:吉永真利江

一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞 建築賞応募作品のうち、既存住宅をリフォーム・リノベーションしたもので、美しいまちづくりに寄与する建築物(リフォーム・リノベーション後の用途は問いません)を、「大賞」「優秀賞」受賞作品を除いたものから選考委員会が推薦し、一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長が決定しました。

一般財団法人福岡県建築住宅センター

www.fkjc.or.jp/

●お問い合わせ先 / 092 781 5169

建築住宅センターの住まいづくりサポート

●住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

●住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

●住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

●生涯あんしん住宅

在宅ケア対応モデル住宅の展示

一般財団法人福岡県建築住宅センターは
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援して
います

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
県民の高度化・多様化する住まいづくりに
応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を
果たす機関として1978年(昭和53年)に設立
されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法
人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し
新たにスタートいたしました。今後も社会
経済情勢の変化に対応しながら、県民の
ニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セ
ミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険
取扱機関としての業務等を通じて消費者の
保護を図るとともに、モデル住宅の展示、
住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催
等を通じて、的確な住情報の提供を行って
います。また、工務店等の技術者に対する
研修会の開催、建築技術に関する調査研
究等を行い、併せて建築物等の安全性(定
期報告)に関する業務、並びに福岡県の指
定を受けて、指定確認検査機関及び指定構
造計算適合性判定機関として、建築確認・
検査、構造審査業務及び、国の登録住宅
性能評価機関としての諸業務を実施してい
ます。

これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

〔建築住宅文化賞〕大賞受賞作品

〈第1回～第9回〉

第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館



第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別邸第一水明荘
福岡県医院
花園幼稚園
ピレヅジ香月



第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女



第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院'海の病棟'
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロントプロムナード'マリソノ'



第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
刈田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた



第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)



第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)



第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
縄田邸
上隈町立尾久保小学校



第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
碓井琴平文化館
新宮湊坂



これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞 〈第10回—第22回〉
[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞]大賞受賞作品

第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度
鞍手の家
太宰府長浦台の家

10



第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)

12



第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度
山田市立下山田小学校

第13回福岡県美しいまちづくり賞
平成12年度
めくばーる三輪
青葉台はんえるふ

14



第14回福岡県美しいまちづくり賞
平成13年度
大野城の住宅
ひふ科いのクリニック
八女市多世代交流館「共生の森」

第15回福岡県美しいまちづくり賞
平成14年度
City Cube
篠栗幼稚園

15



第16回福岡県美しいまちづくり賞
平成15年度
SHIMA STYLE
渡辺クリニック姪浜
247

第17回福岡県美しいまちづくり賞
平成16年度
カルシア小戸ナチュア

16



第18回福岡県美しいまちづくり賞
平成17年度
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト
西南学院中学校・高等学校
伊田堅抗檜二本煙突(景観賞)

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成18年度
TERZETTO(テルツェット)
中村製紙所新社屋

18



第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成19年度
須崎の長屋

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成20年度
東神原の家
アクア博多

19

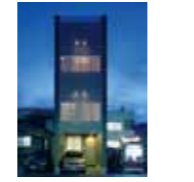


第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成21年度
ペットと暮らす家[K邸減築工事]
天神MENTビル

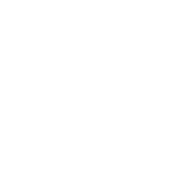
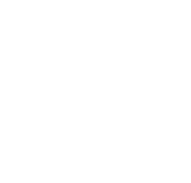
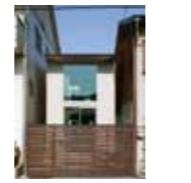
21



11



22



これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞 〈第23回—第28回〉
[美しいまちづくり建築賞]大賞受賞作品

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成22年度
豊前の家
下川歯科医院

23



第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成23年度
むさしヶ丘の住宅
築上町火葬場



24



第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成24年度
四季の家
料亭 嵯峨野

25



26



第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成25年度
Obi house
筑紫保育園 分園

27



28



第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成26年度
大池の住宅
椎木講堂

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成27年度
松原の家
BOATHOUSE OHORI PARK

賞の部門

●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。

ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。

ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

※概ね10年前以降に竣工[増改築・修繕等含む]したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。
[福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除く。]

表彰の趣旨

今回で29回を迎えた福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与いたします。

選考委員会

池田美奈子 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

大森今日子 / 写真家

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授

菊竹清文 / 情報彫刻家

菊地成朋 / 九州大学大学院人間環境学研究院教授 ◎

北里晋 / 西日本新聞社編集局文化部長

末廣宣子 / 有限会社エヌ・ケイ・エス・アーキテクト取締役

田辺清喜 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授 ○

中尾良教 / 福岡県建築都市部次長

50音順、敬称略 ◎委員長 ○副委員長

主催 / 福岡県

福岡県建築都市部住宅計画課内

福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

福岡県庁ホームページ 美しいまちづくり建築賞

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenchikusyo.html>

お問い合わせ電話番号 / 092 643 3733

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター

後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

一社：福岡県建築士事務所協会

一社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会